

「歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男 日吉歯科診療所・熊谷崇の挑戦」感想文

医療法人すみれ おおくぼ歯科クリニック 歯科医師 増井 さやか

先日嬉しい事がありました。初診から担当し、治療も完了してメンテナンスに移行する患者さんに「今まで自分の口の事は中途半端にできてしまっていたけれど、受診して改めて予防の大切さを理解できました。自分の口に向き合って治療を終えてメンテナンスまでたどり着く事が出来ました。これからもずっとメンテナンスを大切に続けていきたいですし、予防の大切さを知人に伝えていきます」との言葉を頂きました。歯科医師として、治療の一時期だけではなく、生涯の口腔の健康の維持の為に患者さんに関われるという事は本当に嬉しく、達成感が有りますし、同時に計り知れないほどの責任も感じます。

私は、この患者さんに対して、口の健康を通してご自身の価値も高めてほしいと思って真剣に向き合ってきました。その気持ちが伝わったと確信しています。

ただ忙しい毎日の中で、担当した患者さん全員に同じ様な気持ちで向き合えているかというと、、、100%YESとは言えません。それが私の今後の課題だと「カンブリア宮殿」を観て思い知りました。

MTMの流れを実行するだけでなく、その先にある真の目的を意識しなければ、ただただ毎日の診療はこなすだけになってしまいます。それはとっても苦痛な事だと思います。定期的に資料をとることは決して楽な事では有りません。資料の分析や説明も知識とエネルギーが要ります。その情報を診断、治療、メンテナンスに活かすだけでなく、患者さんと共有しなくてはなりません。そして、予防歯科を実践すれば、患者さんが生涯自分の歯で食事出来る幸せを提供出来るという事を自信をもって、伝え続けることが私たちの使命だと感じます。

分かっているでも実行しなければ、結果をださなければ意味がない。「カンブリア宮殿」で熊谷先生の信念の強さを改めて教えて頂きました。今に至るまでの熊谷先生の乗り越えてきた苦労や苦悩を思うと何回観ても熱くこみ上げる物を感じ、心から感銘を受けます。

後につづく者として、自分の出来る事を考えて患者さんに向かい合っていきます。これからの日本の歯科をもっともっと良くしていく為に、酒田を目指して、まずは地域から変えていける様な熱い気持ちを持ち続けます。